



報道関係者各位

平成30年9月26日

青森県立保健大学

## 第18回地域包括ケア・フォーラム in 青森

### I. 概要

本フォーラムは、平成13年に下北地域の保健医療福祉専門職と共同で「ケア・マネジメントフォーラム in 下北」と題し企画開催された。翌年からは「ケア・マネジメントフォーラム」の名称を用いて毎年開催を重ね、平成26年度からは「地域包括ケア・フォーラム in 青森」として開催し、これまで広く県下の保健医療福祉専門職、当事者・家族、本学教職員・学生の参加を得ている。これまで高齢者虐待・利用者が望むケアプラン・地域におけるすこやか力向上・がん患者のためのサバイバーシップ等、地域のニーズに対応した多岐にわたるテーマで開催している。

今回は、「日常生活上のケアをする」という基本に戻り、中でも“排泄ケア”に着目した。私たちが生活する上で不可欠な行動であり、重要なテーマである。自立もしくは何らかの介助が必要な方、ご家族の方、医療従事者、ケアを学んでいる学生等誰もが適切なケア方法を模索し、苦心し、継続している。単にきれいにするだけでなく、工夫・考え次第で援助される方々の行動範囲が広がる、排泄に関するストレスが軽減する、またケアを行う側の満足感も向上する等が期待される。そこで、排泄という機能を身体の仕組みから見直し、広く実践されているケア方法の根拠を学び、日々のケア方法がより効果的なものになるための工夫を得る機会としたい。

### II. 日時・会場等

テーマ：「排泄ケアを考える」

日時：平成30年11月26日（月） 13:00～16:00

会場：青森県立保健大学 教育研究A棟1階 A101 教室

対象者：保健医療福祉専門職、本学教職員、学生他

参加費：無料

### III. 内容

(1) 基調講演 「身体の働きからみる排泄を調えることの重要性」

講師：三重県立看護大学 学長 菱沼 典子氏

(2) ショップ 「多様な排泄ケアの根拠を探る」

司会：青森県立保健大学 研修科長

ショップ：人間環境大学 看護学部 栗田 愛氏

「グリセリン浣腸の安全実施に向けて」

山形済生病院 リハビリテーション科 坂本 優捺氏

「当院における下部尿路機能障害・症状に対する理学療法士のかかわり」

八戸市立市民病院 看護局 河村 舞氏

「トイレで排泄したい！をかなえる 急性期病院で排泄行為に着目したケア」

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学 地域連携・国際センター研修科

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当(事務局) 地域連携推進課 岡嶋 雅昭

\*\*\*\*\*